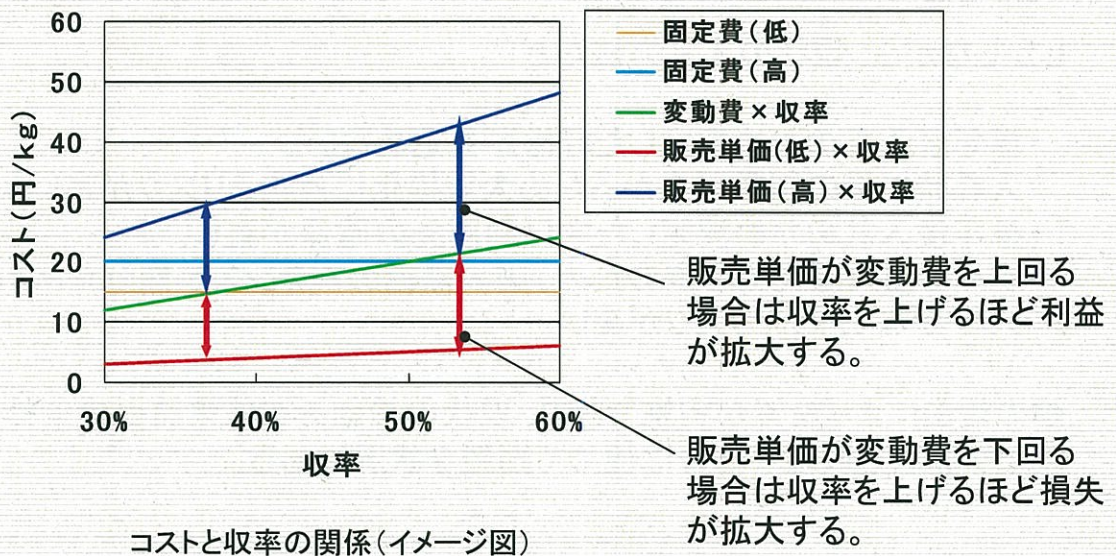


7. 更なる高品質化へ向けた考察 “手法間のコスト構造とペレットの売価について②”

破碎・造粒工程のみのケミカルリサイクル(コークス炉化学原料化)に対して、材料リサイクルは選別・破碎・洗浄・比重分離・脱水・乾燥・ペレット化の工程を経て再商品化されるため、製造コストは大きくかかる。従って再商品化費用を低減するためには製造コストを下げるだけでなく、製品の売価を向上させることが必要である。

25

7. 更なる高品質化へ向けた考察 “手法間のコスト構造とペレットの売価について③”



26

7. 更なる高品質化へ向けた考察 “高品質化と高売価の条件①”

現状の樹脂相場において、変動費を上回るほどの高売価のペレットを売るためには下記の条件をすべて満たす必要がある。

- ・純度90～95%以上の単一選別（複数台の光学式選別）
- ・塩素分の完全な除去（遠心分離機による除去もしくは上流でのラップ除去）
- ・油汚れの完全な除去（複数回洗浄・お湯洗浄・アルカリ洗浄等）
- ・異物の高精度な除去（アルミ選別・細かいメッシュ等）

これらを実施するためには相当な設備投資が必要である。

設備投資を回収するためには規模を巨大化させて、固定費を低く落とす必要がある。

27

7. 更なる高品質化へ向けた考察 “高品質化と高売価の条件②”

しかしながら、現状の入札方法だと

- ・単年度入札のため安定した経営が見込めない。
- ・入札時に量の制限がかかるため大規模化に対するリスクが高い。
- ・単年度入札のため安定した大口利用先の確保が難しい。
- ・すべて国内販売で限定のため、国内需給のバランスが崩れたときのバッファがなく、販売リスクが高い。

等の理由により投資が実施できず、現状の枠組みのまま前頁の条件を満たす原料を製造するのは極めて困難な状況にある。

28